

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	TOKYO2020 広域連携によるインバウンドおもてなし事業
事業主体 (連絡先)	朝日村商工会 (長野県朝日村古見 1300-5)
事業区分	6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (1) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	973,280 円 (うち支援金: 775,000 円)

事業内容

・平成25年度 山形村商工会との広域連携支援事業・産業振興事業として発行した『ちかみち、よりみちマップ』のノウハウを基に外国人観光客を対象として、車・バス、電車、空路による利用アクセスを追加掲載し、両地域を訪れ易くするための英語・中国語によるインバウンド対応ガイドブックを作製。

令和2年2月下旬完成

作製部数 5,000部

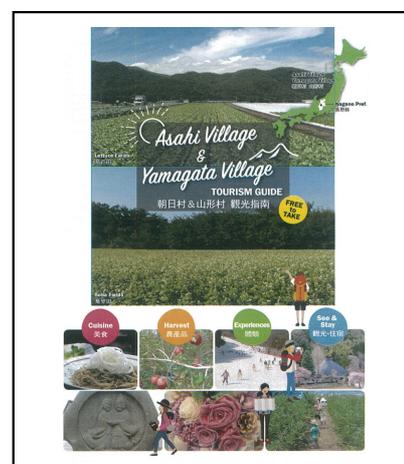
配布: 朝日村役場 100部

朝日村観光協会 200部 他

※新型コロナウイルス拡大により、配布が遅延している。

・作製したガイドブックをインバウンド必須であるインターネットに掲載する。ポータルサイト『朝山どっと混む』をベースに改良し掲載。

掲載開始: 令和2年2月下旬



【ガイドブック表紙】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①②③④ →

「食」「農産物」「体験」「観光・宿泊」の見出しを付け、写真を多めに掲載し、わかり易いガイドブックが完成した。村内外の施設、観光関連企業などの配布先では、東京オリンピックに向け、山形村・朝日村をPRする地域初のインバウンドガイドブックとして、大変喜ばれ期待されている。

今後、各地へ配布するとともに、インターネット掲載により、海外からの観光客の増加が見込まれる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

次年度以降も引き続き増刷を図り、可能な限り継続することにより、外国人観光客に地域の良さを知ってもらい、来訪に繋げていきたい。また、インバウンド内での情報交換を促し、口コミによる増加も含めて国内外問わず観光客の増加に繋げ、交流人口の増加、経済効果を含め、魅力あるまちづくりを展開していきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①「食」を利用した観光の構築
- ②「体験観光」の起爆剤
- ③地域の紹介
- ④新事業の創造

※自己評価【 B 】

【理由】

新型コロナウイルス拡大により、配布が遅れているため。